

みんなで「置き配」プロジェクト 「置き配体験モニター」アンケートまとめ

モニター期間：令和6年11月15日～令和7年1月31日

	回答者数	全モニター数	回答率
1回目（実施前：11/15～11/30）	93	100	93.0%
2回目（期間中：1/1～1/15）	92	100	92.0%
3回目（終了後：2/1～2/14）	93	100	93.0%

モニター事業の概要

みんなで「置き配」プロジェクト「置き配体験モニター」

(1) 目的

再配達削減に有効な受取方法である「置き配」を促進するため、宅配ボックス利用時の削減効果や留意事項等の横展開可能な情報を収集する。

(2) 内容

県内モニター100名に宅配ボックス「OKIPPA」を配布して実際に利用してもらい、利用状況等のアンケートに回答いただいた。

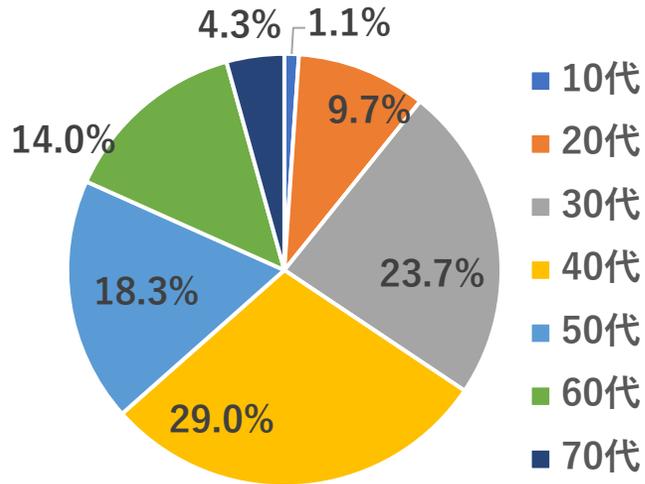
対象者	県内在住者でアンケートに協力できる方
応募期間	令和6年9月20日～10月31日
モニター参加者	100名（応募総数：432名から抽選）
モニター期間	令和6年11月15日頃～令和7年1月31日
アンケート	実施前、期間中、終了後の計3回アンケートを実施（回答率92～93%）



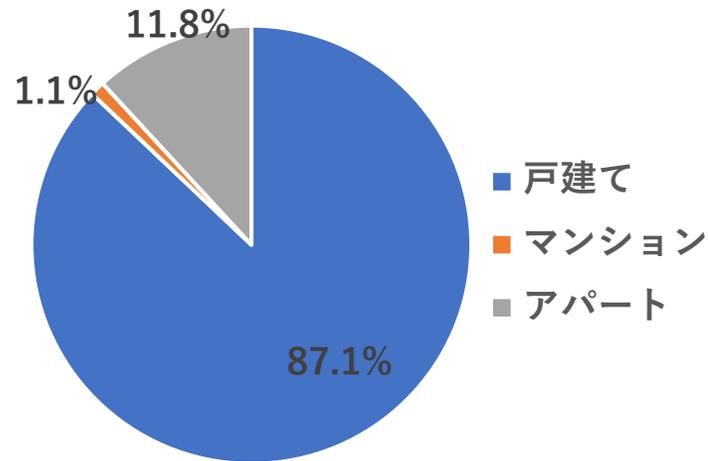
モニター基礎情報

全て n=93

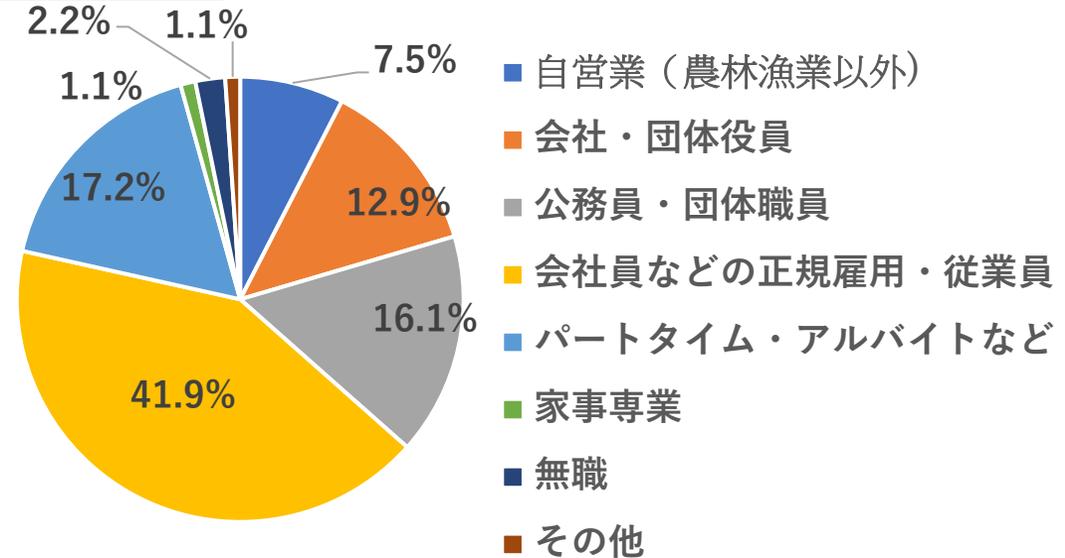
年齢



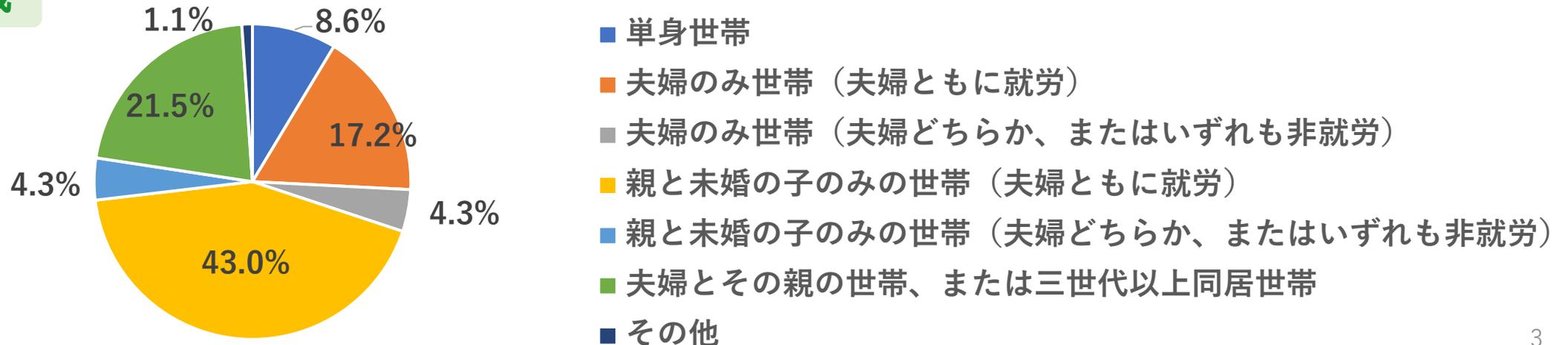
住居形態



職業

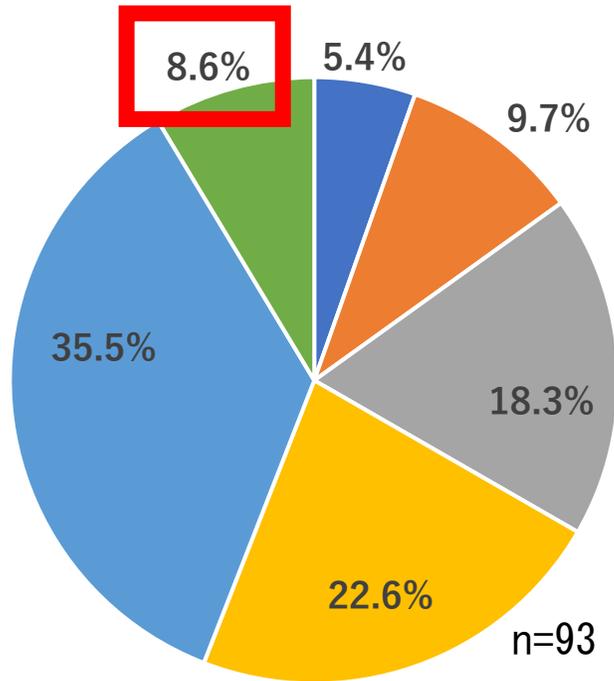


家族構成

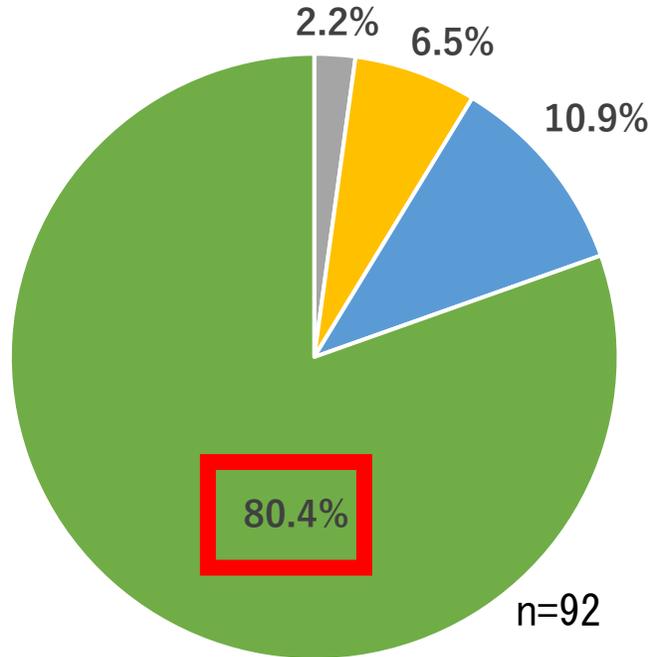


期間中の再配達率

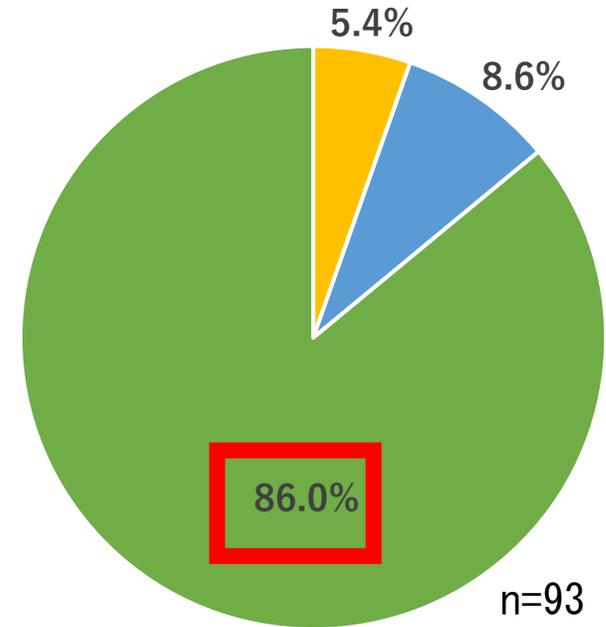
開始前（過去3か月間）



期間中① 11/15～12/31※



期間中② 1/1～1/31※



- ほとんどすべて
- 7～8割
- 半分くらい
- 3割くらい
- 3割未満
- ほとんどない

※期間中の受取個数と再配達個数から計算した値

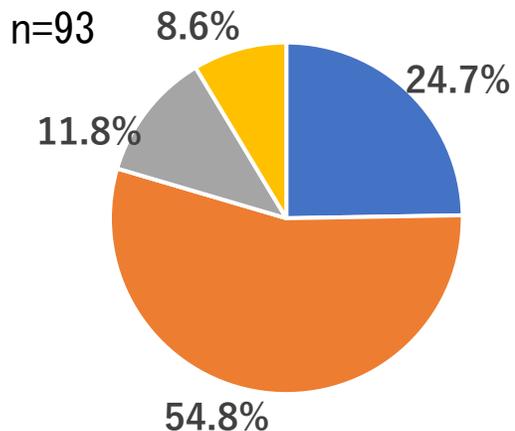
ほとんどすべて…85～100%
 7～8割……………65～85%
 半分くらい……………45～65%
 3割くらい……………30～45%
 3割未満……………15～30%
 ほとんどない………0～15%

▶ 宅配ボックスの設置が、再配達削減に大きく寄与した

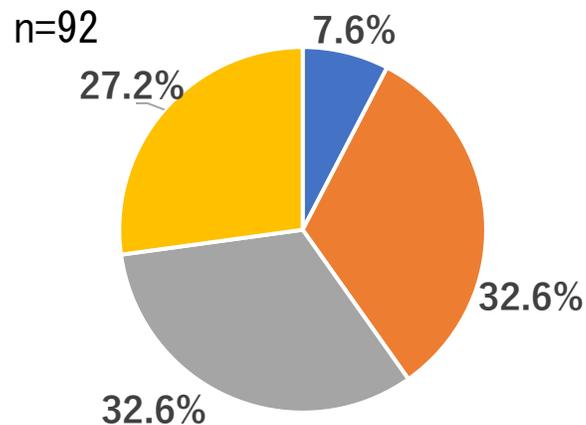
宅配便の利用状況

1月あたりの宅配便の受取頻度

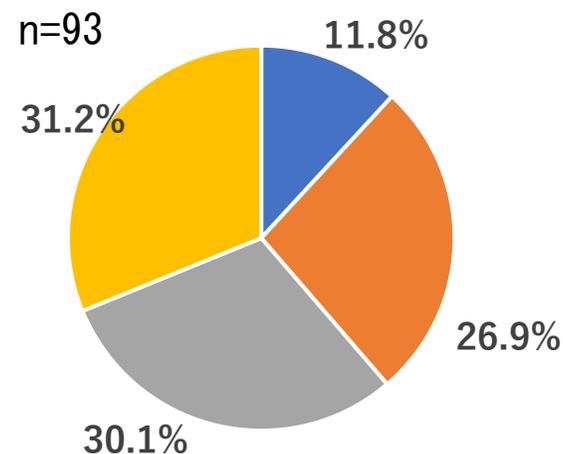
開始前（過去3か月間）



期間中① 11/15~12/31※



期間中② 1/1~1/31※



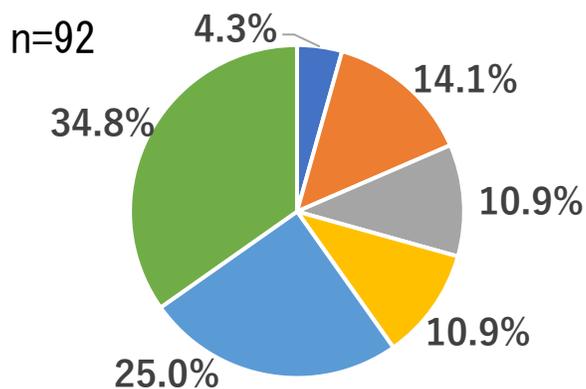
- 0~2回（週に1回以下）
- 3~4回（週に1回程度）
- 6~8回（週に2回程度）
- 9回以上

※期間中の総受取個数とアンケート対象期間から計算した1か月あたりの受取頻度

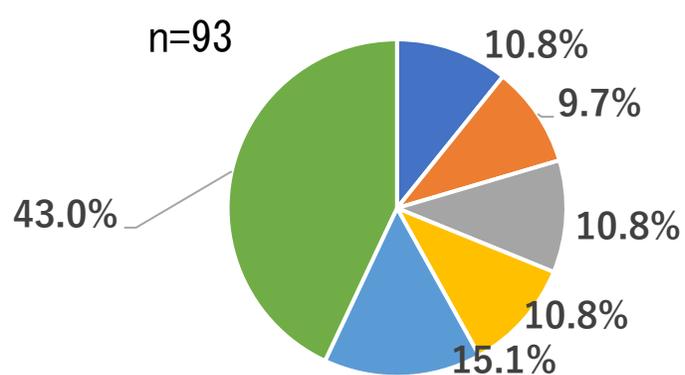
0~2回（週に1回以下）…0~2.5/月
 3~4回（週に1回程度）…2.5~5/月
 6~8回（週に2回程度）…5~9/月
 9回以上……………9/月以上

期間中の宅配ボックスの利用率

期間中① 11/15~12/31※



期間中② 1/1~1/31※



- ほとんどすべて
- 7~8割
- 半分くらい
- 3割くらい
- 3割未満
- ほとんどない

※期間中の総受取個数と宅配ボックス受取個数から計算した値

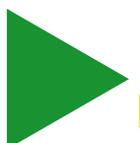
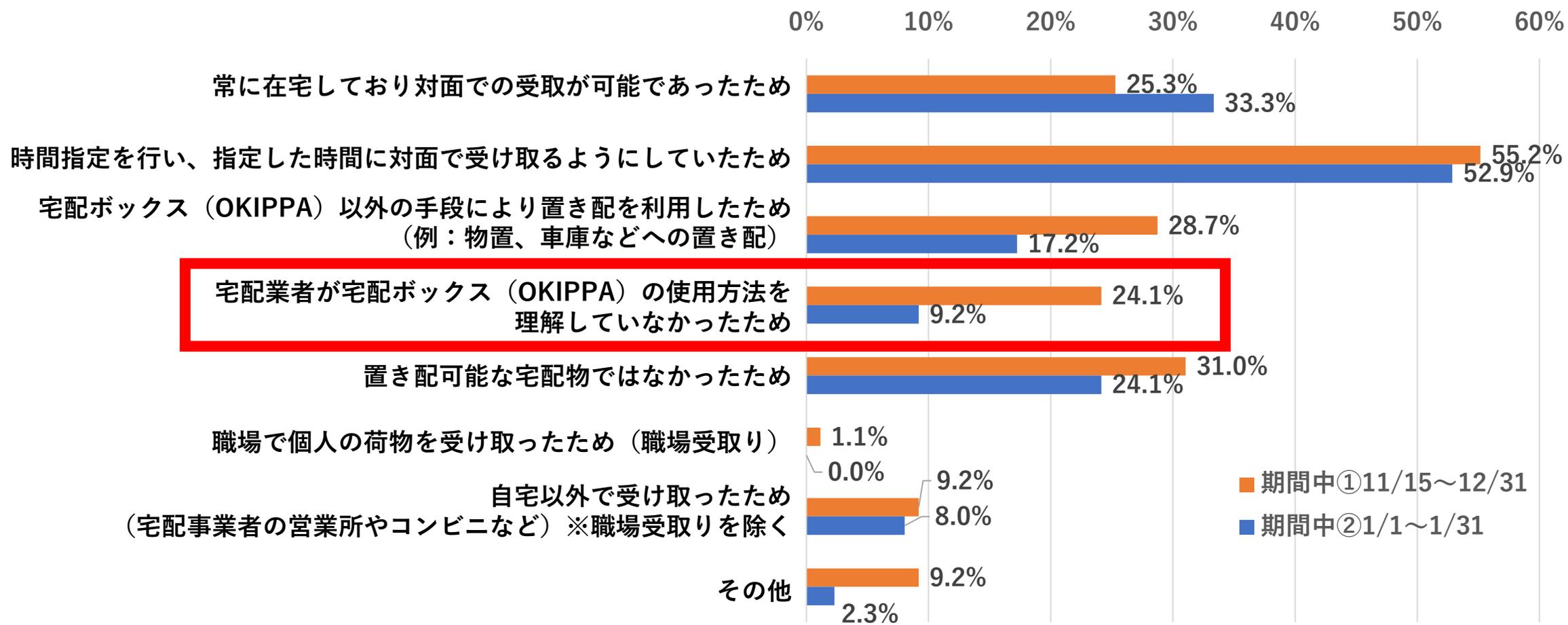
ほとんどすべて…85~100%
 7~8割……………65~85%
 半分くらい……………45~65%
 3割くらい……………30~45%
 3割未満……………15~30%
 ほとんどない………0~15%

宅配ボックスを利用しなかった（できなかった）理由

期間中①11/15～12/31 (n=89※)

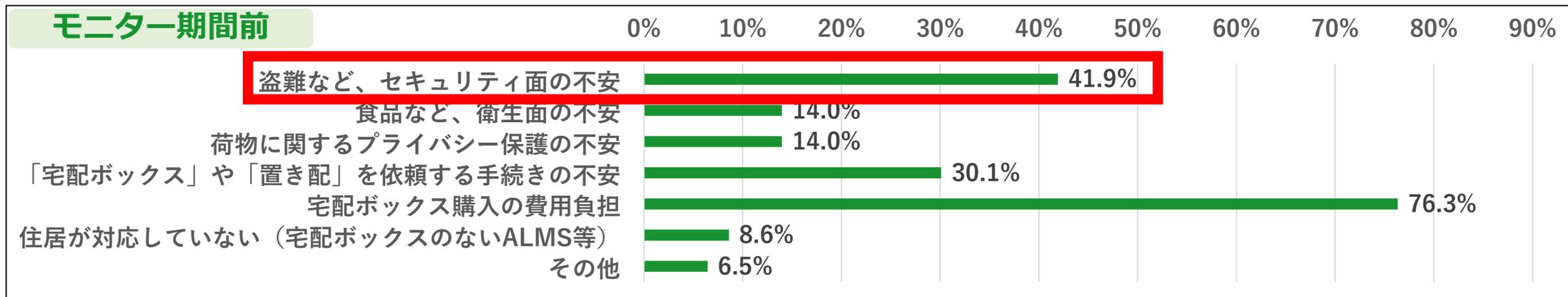
期間中②1/1～1/31 (n=84※)

※期間中の利用率100%のモニターを除く
①4名、②9名



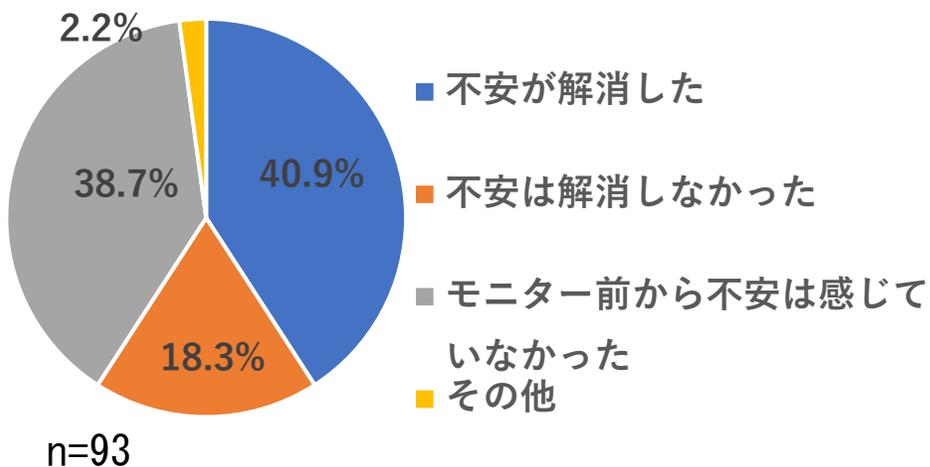
配達員の宅配ボックス使用方法の理解が進むと、利用率が改善

宅配ボックスをこれまで使わなかった理由



モニター終了後

「盗難など、セキュリティ面の不安」について、モニター期間前後での変化



不安が解消した

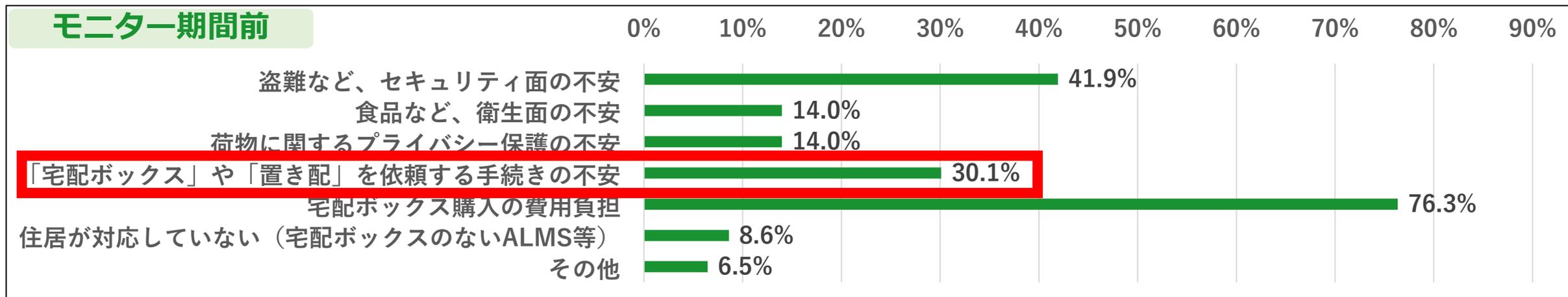
- 宅配ボックスが施錠できることを知らなかった。
- ワイヤーと鍵で固定できるので、置き配でも安心して利用できた。

不安が解消しなかった（主に袋型ボックスの利用について）

- 袋やワイヤーを切って盗難されてしまうのでは
- 配達により袋が展開されて荷物が中に入っている状態だと、かえって不在をアピールしてしまうようで、防犯上も不安

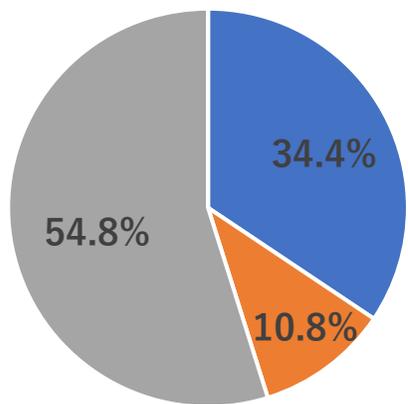
⇒ボックスの種類や特性を知ってもらうことが必要

宅配ボックスをこれまで使わなかった理由



モニター終了後

「宅配ボックス」や「置き配」を依頼する手続きの不安について、モニター期間前後での変化



- 不安が解消した
- 不安は解消しなかった
- モニター前から不安は感じていなかった
- その他

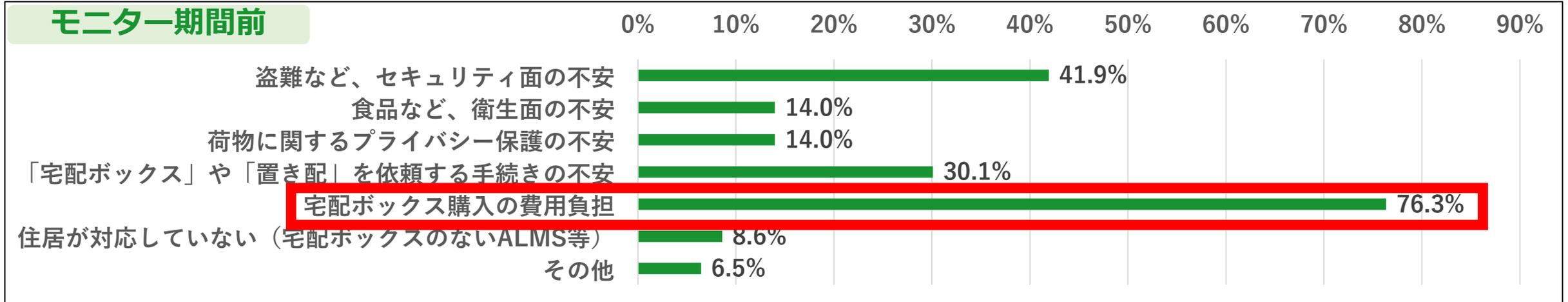
不安が解消した

- 手続きをしてみると簡単に登録でき、実際に使ってもらえた
- 配達人が使用方法を理解できないことを不安に感じていたが、ボックス付属の利用説明書や配達員への周知を行うことで改善できた

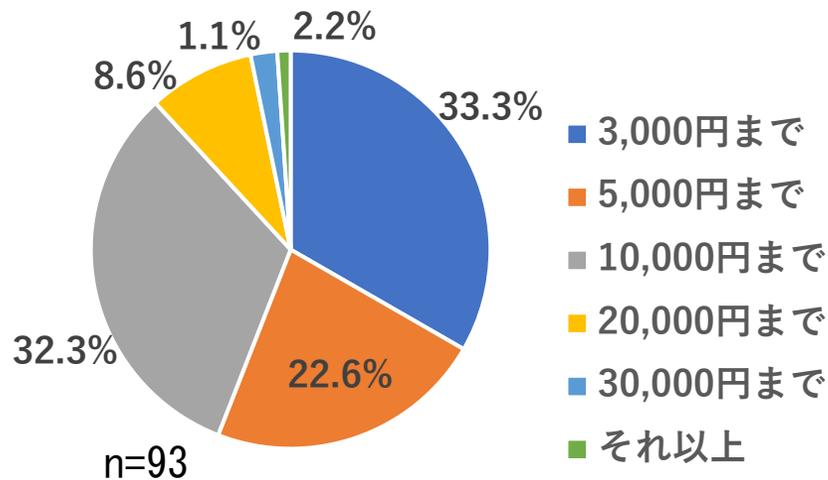
不安が解消しなかった

- 手続きしてもボックスを使ってもらえないことがあった
- 宅配業者によって、注文段階で置き配を指定できず、受取り前にも置き配を指定できないことがあった

宅配ボックスをこれまで使わなかった理由



モニター終了後 宅配ボックスにかけることができる費用



モニター終了後 自宅に一番適すると思う宅配ボックスの種類



自宅に一番適すると思う宅配ボックスの種類

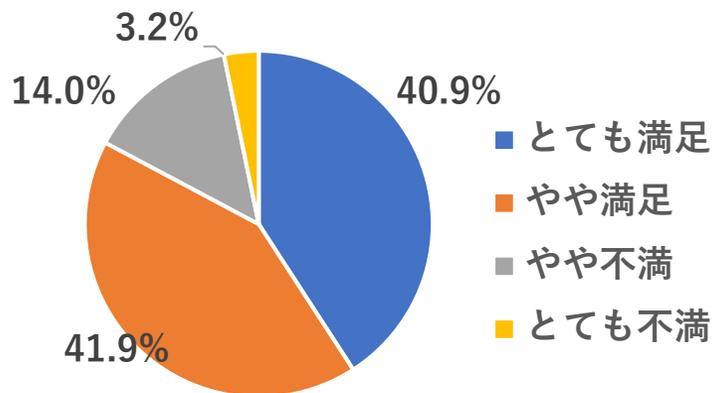
モニター終了後

種類	理由
<p data-bbox="254 329 486 372">据え置き型</p>  <p data-bbox="135 629 570 692"> [アイリスオーヤマ] 宅配ボックス540 [三協アルミ] 機能ポール フレムスLight [YKK AP] ルシアス 宅配ポスト2型 </p>	<ul data-bbox="670 325 2453 654" style="list-style-type: none"> • 存在感があり設置してあることが分かりやすく、配達員に使ってもらいやすい • 蓋や扉の開閉のみで置き配できるので、配達員の手間が少ない • 素材が丈夫で、雪や雨風が強い時でも安心感がある • 大きい荷物でも入るため • 折り畳み型や袋型の場合、置き配された荷物が入っていることがわかりやすいため、不在のアピールをしているようで防犯上の不安がある
<p data-bbox="264 723 491 766">折り畳み型</p>  <p data-bbox="221 1019 435 1039">[佐川アドバンス] 宅配BOX</p>	<ul data-bbox="670 719 1638 933" style="list-style-type: none"> • サイズの的に丁度いい • 据え置き型を置くスペースがない • 袋型は濡れたあとなど畳むのがすこし手間 • 袋型には入りにくい荷物の場合もある
<p data-bbox="326 1075 415 1118">袋型</p>  <p data-bbox="221 1355 351 1375">[Yper] OKIPPA</p>	<ul data-bbox="670 1065 2453 1336" style="list-style-type: none"> • 常時設置しても場所を取らず、玄関前スペースを有効活用できる • 基本的に時間指定で荷物を受け取っているため、宅配ボックスを使用する回数は少なく、受取り都度出し入れが可能な袋型が使いやすい • アパート・マンションのため、玄関前共用スペースの設置に制約がある • 配達されたことが家の中からでもすぐ気づけて良い

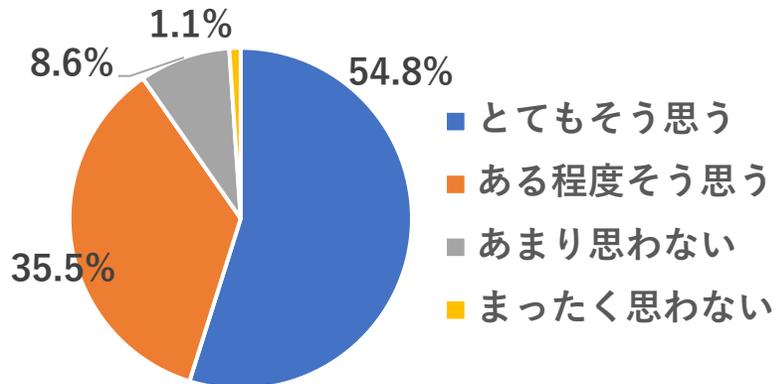
宅配ボックス利用についての感想

全て n=93

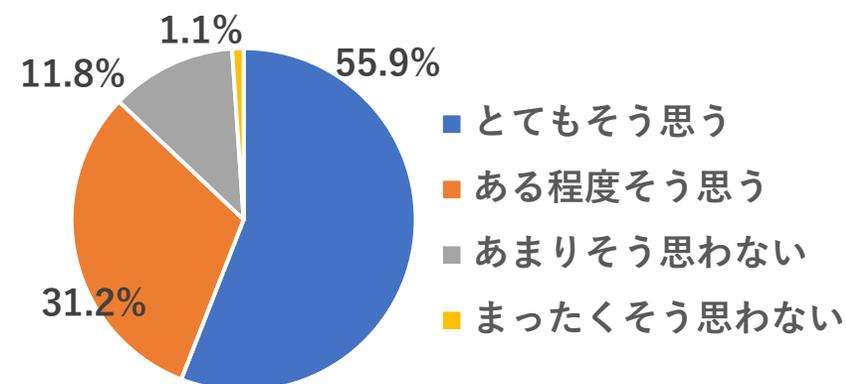
宅配ボックス利用についての満足度



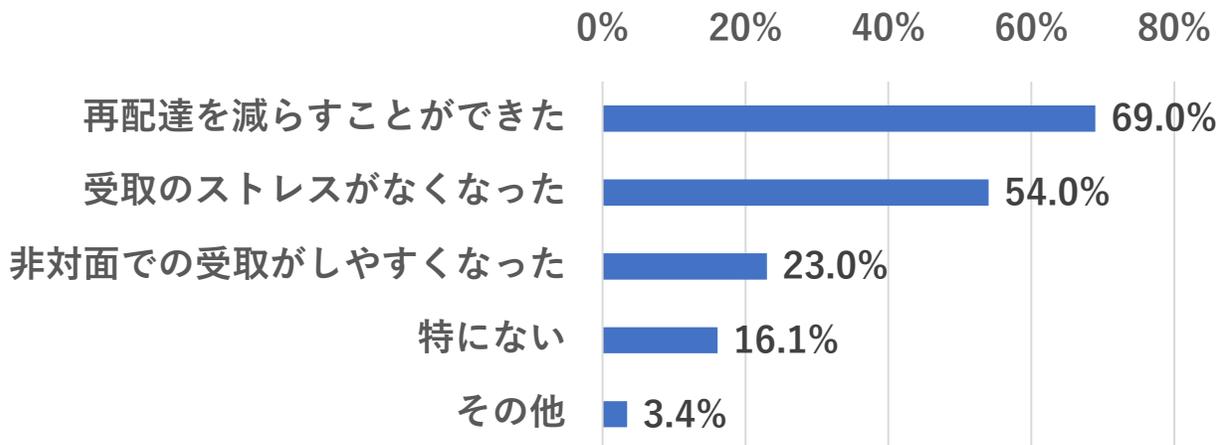
宅配ボックス活用は再配達削減につながったか



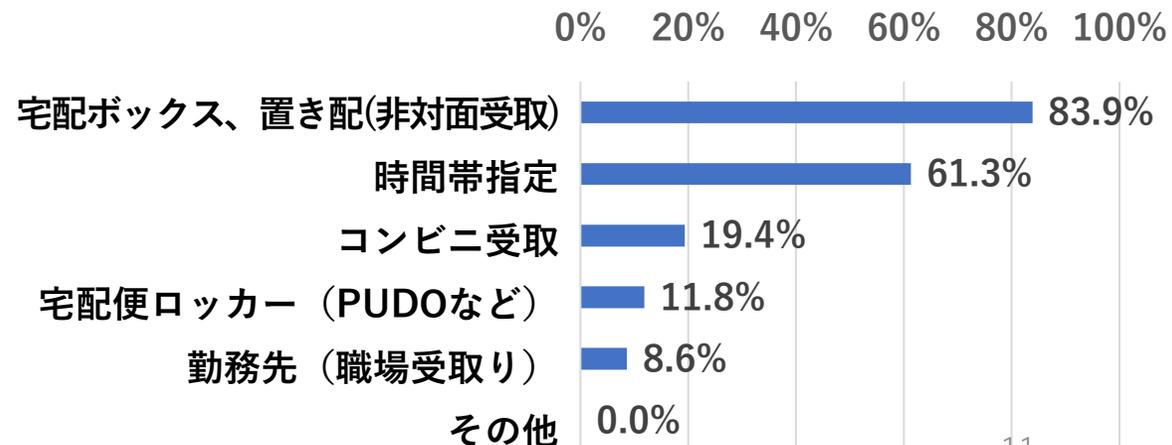
これからも宅配ボックスを継続利用したいか



宅配ボックスを利用して良かったこと

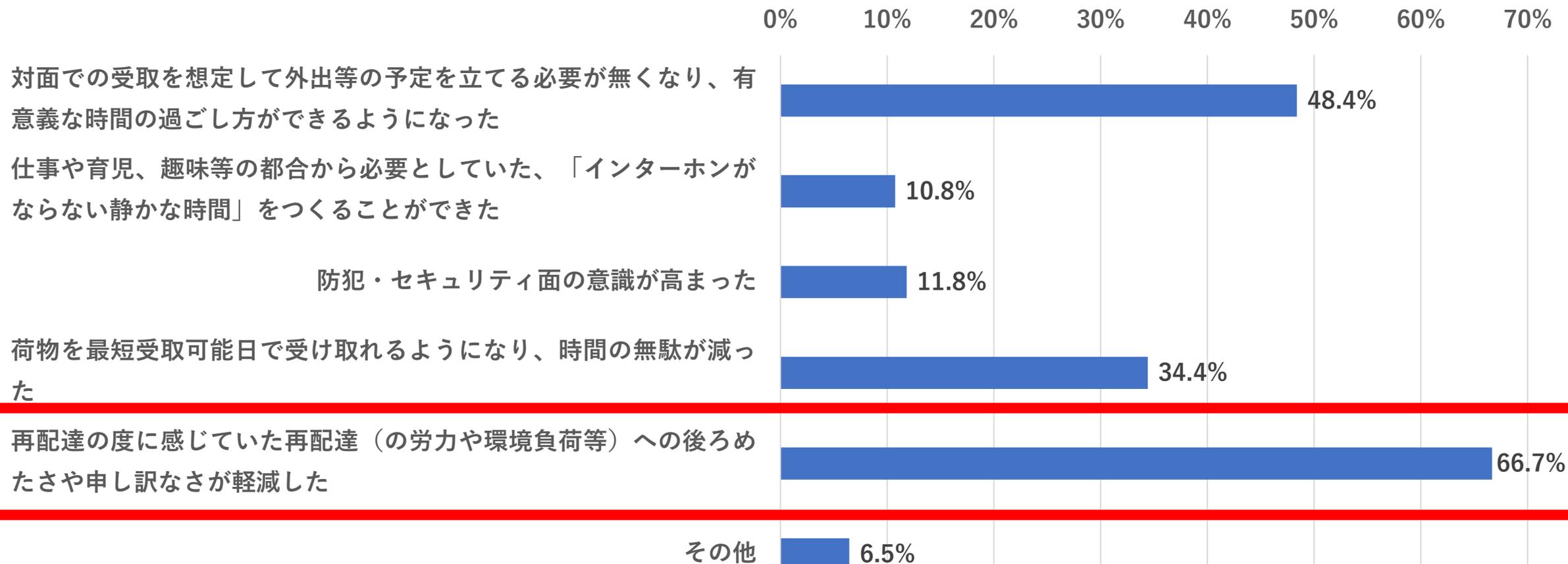


今後利用したい（よく利用している）荷物の受取方法



宅配ボックスの利用による生活の変化

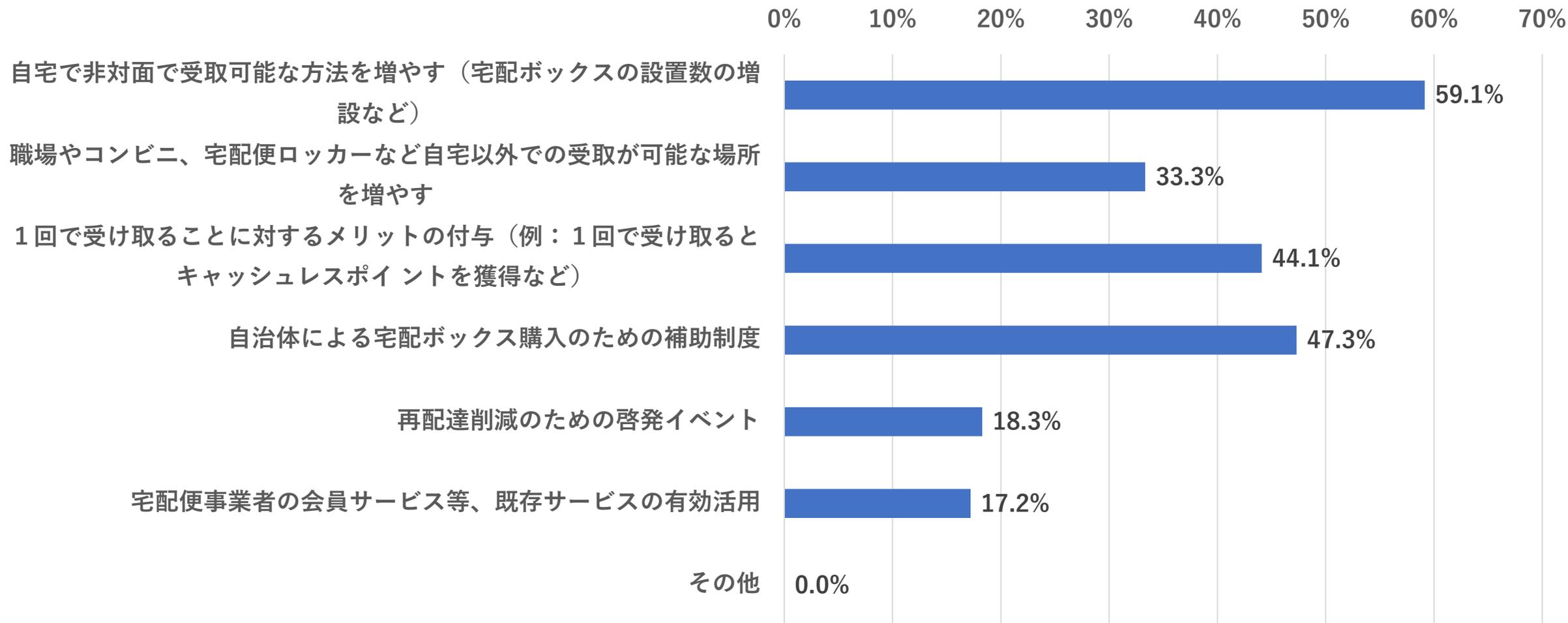
n=93



▶ **多くの方が再配達への「後ろめたさ」「申し訳なさ」の軽減を実感**
「置き配」のメリットとして普及へのカギ

再配達削減のために今後必要だと思うこと

n=93



「置き配」 について **継続的な啓発** が必要

その他自由意見

据え置き型の設置を検討	<ul style="list-style-type: none">よく宅配を利用するので、複数の宅配に対応できるように据え置き型の宅配ボックスも追加で購入した宅配ボックスの便利さは理解できたが、袋型の宅配ボックスは利用に際し、受取側も配達側も煩雑なので、お互いにもっと扱いやすい据え置き型の購入を検討している
荷主側、配送側についての要望	<ul style="list-style-type: none">個人で宅配を利用するときは配達方法についていろいろ簡単に設定できるが、通販サイトでは配達方法について設定できないことがまだまだ多い。大手の通販サイトで置き配の設定が義務付けられるくらいになれば少しは変わるのではないか。ボックスを設置していたが使ってもらえなかった。各タイプの宅配ボックスの使い方とその使用について、配達業者から配達員にしっかり周知をしてほしい。使用方法と場所を説明したら、次回から利用しますという業者もいた。PUDOのような宅配ボックスは家族に知られずに荷物を受け取れるので、多くの企業が導入してくれるとありがたい
周知啓発について	<ul style="list-style-type: none">宅配ボックスに配達してもらおうための、業者ごとの細かい決まりについて周知が必要。例：ハンコの設置やメンバー登録が必須など集合住宅でも、宅配ボックスの種類によっては利用できることが分かった。同じように集合住宅だから無理だろうと思っている人もまだまだいると思う。もっと気軽に宅配ボックスを試せるような機会があると良い。年齢、家族構成、住宅事情、職業、移動手段、荷物の種類等に応じて人それぞれ便利な受取方法は少しずつ違うと思う。SNSやメディア等で様々なパターンをわかりやすく動画等で案内する事で、配る側と受け取る側、それぞれの事情や都合を誰もがイメージ出来る様になれば良いと思う。

モニター期間中の二酸化炭素排出抑制量の算出

宅配ボックスの利用で約298kgの二酸化炭素排出を抑制

モニター期間中の宅配ボックスの総利用回数：636回から試算

(期間① (11/15~12/31) : 415回、期間② (1/1~1/31) : 221回)

【算出式】 二酸化炭素排出抑制量[t-CO₂] = N個×0.58 km/個×1[t]×808/1000000[t-CO₂/t・km]

※国土交通省「宅配の再配達削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会報告書」を参考に算出

N個：宅配ボックスで受け取った個数

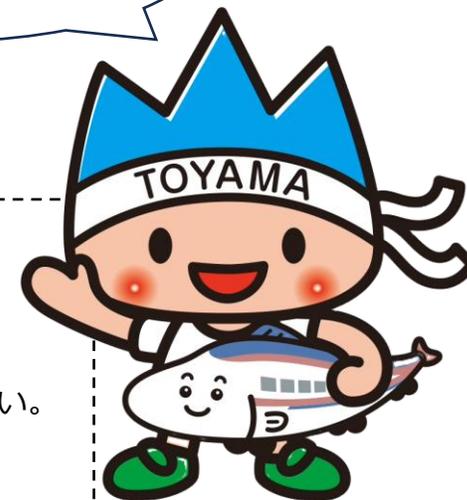
0.58 [km/個]：宅配便1個に対する配達者の走行距離

※宅配事業者から提供の配送車の走行距離を取扱個数で除して算出。走行距離には幹線輸送の数値を含まない。

1 [t]：積載量の平均を1tと想定。

808/1000000[t-CO₂/t・km]：営業用小型車の二酸化炭素排出原単位

ご協力ありがとうございました！



杉の木約34本が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当！

(参考) 林野庁ウェブサイト

1本あたり約8.8kg/年として試算

富山県内の家庭23世帯が1日に排出する二酸化炭素量に相当！

・令和3年度の富山県における温室効果ガス排出量（民生家庭部門）：194万t-CO₂

・令和3年版富山県統計年鑑の県内世帯数（令和3年10月時点）：405,610世帯

を参考に、1世帯あたりの二酸化炭素排出量：年間4.78t、1日あたり13.1kgとして試算

